

市民しぶん山科区版



やましな



今月号の題字
岡 龍平 さん (山階学区)

山科区公式LINE



山科の更なる魅力発見! ~歴史・文化を次世代に繋ぐまち~

十禅寺の縁起絵巻が令和7年3月に京都市有形文化財に指定されました。(山科区で12件目!)



撮影: 京都国立博物館

【紙本著色十禅寺再興縁起(※山本素軒筆) 附 紙本淡彩十禅寺再興縁起下絵 一括]

十禅寺の創始から江戸時代前半の復興までを描いた絵巻で、約10mもの長さがあります。絵巻は長らく京都国立博物館に保管されていましたが、指定のための調査で、十禅寺に眠っていた下絵が再発見され、下絵も合わせて附として指定されました。普段は展示されていませんが、9月末から京都文化博物館で始まる展示で公開されます(下絵は出品されません)。

※江戸中期の狩野派の画家。尾形光琳の画事の師として知られる。

未来へのおくりもの 指定後初公開!

京都府×京都市指定文化財

9月27日(土)~11月24日(月・振休)

【場所】 京都文化博物館(中京区東片町623-1)

【開館時間】 10:00~19:30(入場は19:00まで)

【休館日】 月曜日

【問合せ】 京都府京都文化博物館(☎222-0888)

十禅寺 江戸初期女帝「明正天皇」ゆかりのお寺

十禅寺(四ノ宮)は859年に仁明天皇の第四の宮人康親王が聖観音を本尊として開いたと伝わります。長らく荒廃していましたが、江戸初期に紅玉真慶が再興、徳川家康のひ孫である明正天皇がお堂や本尊の厨子、縁起絵巻などを寄進し、本山(聖護院)修験宗の寺院となりました。絵巻に描かれている井戸や鐘楼、石塔などが現在の境内地と面影が重なります。

JR山科駅徒歩約10分
京阪四宮駅徒歩約6分



TOPICS!

近代の土木構造物として日本初の国宝 /



琵琶湖疏水(山科疏水)施設が
国宝・重要文化財に!

5月16日(金)、国の文化審議会から答申が出され、琵琶湖疏水の諸施設24カ所が「重要文化財」に、そのうち5カ所が「国宝」として指定されることになりました。

【問合せ】 上下水道局総務部総務課(☎672-7709)



十禅寺住職
小山 兼照さん

人康親王が「琵琶琴元祖」と信仰されたことから、十禅寺のある四ノ宮は琵琶や弦楽器ゆかりの地とされ、今年も奉納演奏会が開催されます。

弦楽奉納演奏会

【日時】 8月22日(金) 【費用】 無料(申込不要)

【場所】 ▼アスニー山科 和室
(竹鼻竹ノ街道町92 ラクト山科C棟2階)
10:00~16:00 10種類以上の弦楽器の演奏
▼十禅寺 鐘楼ステージ(四ノ宮泉水町17)
18:00~20:00 歌、平家琵琶、弦楽器の演奏



【問合せ】 区まちづくり担当(☎592-3088)